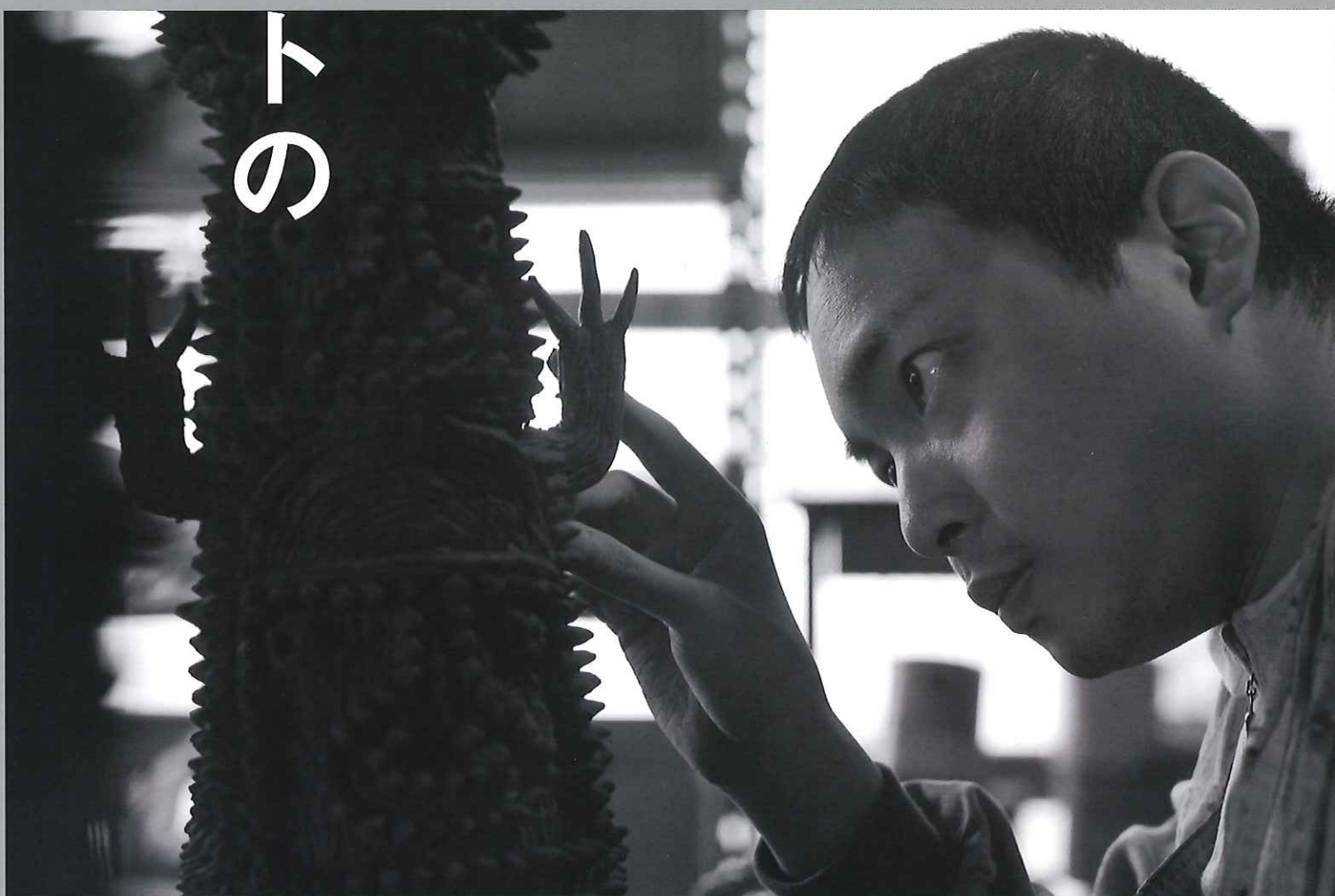


作家たち
ブリティッシュ
アール・

大西暢夫
写真展
Nobuo Onishi

ト
の



澤田真一 (1982- / 滋賀)

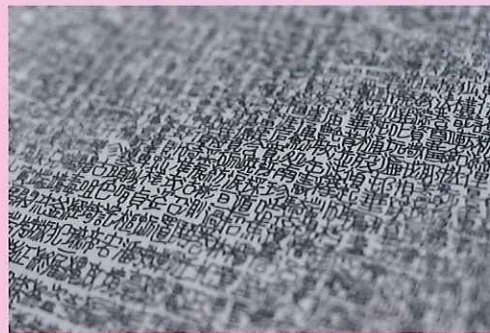
2016. 4. 10 SUN — 5. 8 SUN

9:00-17:00 (初日のみ10:00開場) 入場無料

会場 / ぎふ清流文化プラザ1F 文化芸術県民ギャラリー (tomoniスペース)

オープニングイベント / 大西暢夫氏による作品説明会 4月10日(日) 10:00 ~ 11:30

作家たち アール・ブリュットの 大西暢夫 写真展 Nobuo Onishi



本展は、様々な境遇に晒されながらも懸命に生きる人々の営みを取材しながら、全国で写真や映像の作品発表を重ねている、岐阜県在住の写真家・大西暢夫の写真展を、県内ではじめて開催致します。

大西のファインダーによって切り取られた、アール・ブリュット(1)の作家や作品を通して、アール・ブリュットの可能性やその魅力を紹介します。

オモテ面の澤田真一氏は、粘土を使った造形作家で、その作品は国内外で高い評価を得ており、日本のアール・ブリュットを代表する作家の一人となっています。

また、県内の障がいのある方による作品も同時に展示致しますので、ぜひご覧下さい。

(1)アール・ブリュット：フランスの画家ジャン・デュビュッフェによって考案された言葉であり、「加工されていない、生(き)の芸術」を意味する。デュビュッフェは、精神障害のある人や幻視家などが制作した絵画や彫刻をアール・ブリュットと呼

び、それらの美術の専門教育を受けていない人々の作品を、「もっとも純粹で、もっとも無垢な芸術であり、作り手の発想の力のみが生み出すもの」であると高く評価した。(出典：文部科学省)

- 1 佐々木早苗 (1963/岩手)
- 2 田島征三 (1940/大阪)
- 3 泉巖 (1934-2013/滋賀)
- 4 喜舎場盛也 (1979/沖縄)
- 5 松尾吉人 (1966/栃木)
- 6 宮間英次郎 (1934/神奈川)



大西暢夫 おおにし のぶお 写真家

1968年、東京都生まれの岐阜県育ち。18歳で上京し、東京総合写真専門学校卒業後、写真家・映画監督の本橋成一氏に師事。2010年より池田町の古民家で暮らす。1990年代前半からダムに沈む村を記録し続け、写真と映画で発表。2001年から精神病院に長期入院する人々の姿を撮影し、看護専門誌に連載。2004年に写真集『ひとりひとりの人 僕が撮った精神科病棟』を出版。現在、国内のアール・ブリュットの撮影を多数手がけている。

[主な著書]

- 『おばあちゃんは木になった』(ポプラ社)
- 『ひとりひとりの人〜僕が撮った精神科病棟〜』(精神看護出版)
- 『水になった村』(情報センター出版局)
- 『アウトサイダーアートの作家たち』(角川学芸出版)
- 『ぶた にく』(幻冬舎)

[主な映画]

- 『水になった村』2007年製作
- 『家族の軌跡 3.11の記憶から』2016年製作

ぎふ清流文化プラザ
ともに、つくる、つたえる、かなえる

お問い合わせ
公益財団法人 岐阜県教育文化財団
岐阜市学園町3-42ぎふ清流文化プラザ 1F
〒502-0841
TEL : 058-233-5810 FAX : 058-233-5811
http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/

[駐車場のご案内]

ぎふ清流文化プラザ駐車場 (136台)
駐車料金/3時間まで100円 それ以降30分ごとに100円
・駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
・障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

[公共交通機関のご案内]

岐阜バス
JR岐阜駅10番のりばまたは名鉄岐阜(バスターミナル)Cのりば
[三田洞線] 市民会館/長良川国際会議場方面行き
「K50 長良八代公園前」、「K51 三田洞団地」、「K55 彦坂真生寺」より約20分。バス停「メモリアルセンター正門前」下車 徒歩1分。

協力(敬称略)：社会福祉法人グロー (GLOW) 岐阜南ライオンズ倶楽部

